

施策評価シート（平成27年度実績評価）

◎ 施策の基本情報

総合計画 中期 プラン	政策No.	4-2	政策名	参画・協働のまちづくり	政策の 目指す姿	お互いを尊重し、持っている特 性と能力を活かし合い、まちづ くりを行っています	施策 主管課	地域づくり課	施策主管 課長名	佐藤 多恵子
	施策No.	1	施策名	市政への参画・協 働機会の拡充	施策の 目指す姿	市政に関心を持って積極的 に関わっています	関係課名			
	市	<p>・本市では、平成20年に「花巻市まちづくり基本条例」を制定し、まちづくりに関する重要な計画策定時においては、パブリックコメントや意見交換会等を実施し、市政への市民参画を図るとともに、共通の課題解決に向け市民と市との協働によるまちづくりに取り組んでいます。</p> <p>・多様化する市民ニーズや地域課題に対応するため、懇談会等の実施により市民の意見を把握し市政への反映に努めています</p>								

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取り組み実績

<p>(1) 参画・協働機会の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ○重要な計画等の策定時における適切な方法を用いた市民参画の実施 ・市民参画ガイドラインの運用及び検証 ・市ホームページや市広報紙による市民参画の指針、ガイドラインの周知及び市民参画予定や結果の周知 ○市民と行政による協働事業の推進 ・協働指針の周知による協働に対する考え方の共有 <p>(2) 広聴の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市政懇談会やまちづくり懇談会および各総合支所における市長の移動執務日における地域住民との懇談の実施 ・市政懇談会、まちづくり懇談会、市長へのはがきやメール、市長への手紙、政策提案 ・市長移動執務日及び本庁における地域住民との懇談会

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値 区分	H23	H24	H25 (基準年度)	H26	H27	H28
市政へ意見を述べる機会が確保されていると思う市民の割合	市政へ意見を述べる機会や場に対する市民の満足度を測る指標として設定する	まちづくり市民アンケート「あなたは市民が市政へ意見を述べる機会が確保されていると思いますか」の問いに対し、(1)そう思う(2)どちらかというと思うと回答した市民の割合	%	目標値				31.0	33.0	35.0
				実績値		28.8	28.5	32.2	39.4	
				目標値						
				実績値						
				目標値						
				実績値						
				目標値						
				実績値						

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
A	<p>■成果指標「市政へ意見を述べる機会が確保されていると思う市民の割合」・・・【達成度 a】</p> <p>H24からH25へは横ばいであるが、H26には目標数値を上回り、H27にはさらにそれを上回ったことから、H24から始まった市政への市民参画ガイドラインに基づく市民参画の成果が表われている。</p> <p>市長へのはがきやメールに加え、各総合支所における市長の移動執務日及び本庁での地域住民との懇談が行われたことも実績値の向上につながったと考える。</p>

4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名	担当課	施策への貢献度	
	事業内容(実績)		直結度	成果
1	市民参画・協働推進事業	地域づくり課	A	A
	・市政への市民参画ガイドラインの運用と検証。市広報紙における市民参画ガイドラインの周知、市民参画参画の予定や結果のお知らせ4回。(H27 市民参画予定9件、実施公表10件) ・市ホームページにおける協働指針の周知により、協働に対する市民との考え方の共有。			
2	広聴活動充実事業(ゼロ予算事業)	地域づくり課	A	-
	・市政懇談会、市長へのはがきなどの広聴事業の充実を図る。(市長へのはがき67件、市長へのメール56件、要望陳情367件、市政懇談会27会場552人意見244件、まちづくり懇談会1団体) ・総合支所市長移動執務日等における地域住民との懇談。(団体意見交換会189人、個人との対話260人)			

5 施策を構成する事務事業の検証

(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか)

(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)

- ・市民参画については、参画の手法について工夫し、より多くの市民の声を聞く必要がある。(手法、場所、日時等)
- ・市民参画による市民からの意見および市の考え方の公表はわかりやすくまとめる工夫が必要である。
- ・28年度まちづくり市民アンケートにおいて、「市民と行政の協働によるまちづくりが進められていると思うか」という問いに対して「そう思う」、「どちらかというと思う」と回答した市民は、30.9%に留まっていることから、より一層協働に対する市民の理解を深め、市民と市による協働を推進する必要がある。

(新たに取り組むべき事業はないか)

- ・協働の事例について紹介し、市民と市との身近なものとして意識付けを図ること。

6 施策の総合的な評価

(課題)

- ・市民参画は参画の手法の多くがパブリックコメントになっている傾向もあることから、より市民が参画しやすい工夫を図るべきである。(手法、場所、時間など)
- ・協働については、市民にとって、その内容がよく理解されていないところもあり、また、市においても市民との協働を積極的に推進すべきである。

(今後の方向性)

- ・市民参画の手法については、意見交換会やワークショップも採用するなど、より市民が参画しやすい工夫を図る。(手法、場所、時間など)
- ・市民参画の事案の周知を図る。(コミュニティFMなど)
- ・市民との協働については、職員の意識高揚を図り、事例を紹介しながら市民にとって身近なものであることの意識付けを推進する。